

研究課題名	周術期口腔機能管理介入が術後肺炎および術後感染に及ぼす影響の検討
実施責任者	所属・職名： 歯科口腔外科・部長
	氏名： 伊東 優
研究の概要	手術後には、肺炎や感染などの合併症が起こることがあります。口の中の汚れ、歯周病、義歯の汚れ、むし歯や歯の根の感染などは、手術後の肺炎や感染と関係する可能性があります。当院では、手術を予定している患者さんに対して、必要に応じて歯科口腔外科が周術期口腔機能管理を行っています。本研究では、通常診療で記録された情報を用いて、周術期口腔機能管理を受けた患者さんと受けていない患者さんで、手術後の肺炎や感染の発症に違いがあるかを調べます。
対象となる個人情報	対象患者背景（年齢・性別・病歴・喫煙・飲酒など）、血液検査、病名、術式、手術時間、周術期口腔機能管理の有無、義歯の有無、口腔内の状況、術後肺炎、術後感染などです。この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含んでおりません。
実施の期間	西暦 2020 年 01 月 01 日より
	西暦 2030 年 12 月 31 日まで
研究対象	上記期間中に、当院で全身麻酔下にて手術となり、周術期管理を受けた患者